



## 国際会長メッセージ

この数ヶ月間、私は丘を登るような数々の困難に直面してきました。私の気持ちを表現するために、[アマンダ・ゴーマン](#)の詩「私たちが登る丘」の一節を紹介します。

アマンダ・ゴーマンは、マーティン・ルーサー・キング牧師の「私には夢がある」という言葉を引用し、山上の説教にも言及しています。私にとってこの詩は、希望と仲間意識を与えてくれるものであり、ワイズメンバーが深く理解できる感情です。この詩を読むと、私は「地の塩」であり「世の光」であることを実感します。

日が来ると、私たちは自らに問う  
この終わりのない日陰の中で、どこに光を見出す  
ことができるのだろうか  
私たちが背負う喪失感  
私たちが渡らなければならない海  
私たちは獣の腹の上を勇敢に泳いできた  
静けさは必ずしも平穏ではないことを学んだ  
規範や正義とは何か  
という概念は、  
必ずしも正義の氷ではない  
それでも夜明けは私たちのものとなっている  
私たちがそれに気づく前に

どうにかこうにか私たちは  
この国を切り抜け、目撃してきた  
この国は壊れたのではなく  
単に未完成なのだ  
日が昇るとき、私たちは  
日陰から足を踏み出す、  
真っ赤に輝いて恐れずに  
新しい夜明けは、私たちがそれを解放  
するときに花開く  
光はいつもあるから  
私たちがそれを見る勇気さえあれば  
私たちがそれである勇気さえあれば。

私の国際会長の今年度のテーマは「輝かそう、あなたの光を」です。

ワイズメン、ワイズウィメンとして、私たちは常に光を放たなければなりません。それがイエスの教えです。それが慈愛(チャリティー)です。

私の住む地域では、秋が深まるにつれて日が短くなり、暗くなるのが早くなります。そのため、憂鬱な気分になる人もいます。しかし、私たちが一貫して光を放っていれば、それは他の人々にとって希望の光となります。私たちがこの光を真に受け入れ、求めるとき、その光はすべての闇を消し去るほどの力を持ちます。

# 国際本部新オフィス

## グランドオープニング

2023年9月23日



アルバムへ



ウルリック国際会長によるテープカット!



(左から右へ)ジョース・ヴァルギース国際書記長、クナッド・ハウガード・クラウゼン・エンダウメント基金管理委員長、シェン・チ・ミン(チャーミング)次期国際会長、ウルリック・ラウリドセン国際会長、ジェイコブ・クリステンセン元国際会長、エリック・ブレウム次期国際会計とT・M・ジョース国際会計



世界 YMCA 同盟カルロス・サンヴィー総主事、チャーミング次期国際会長、T・M・ジョース国際会計



ケーキカット



記念プレートを披露するチャーミング次期国際会長



エリック次期国際会計とピエール・アルベール・ヴィラール建築設計事務所のプロジェクデザイナーたち



現・元IHQスタッフ:ジョース国際書記長、ジェームス・オレ、キャロル・ラント、ポーリン・グロス、元国際書記長イングヴァー・ワリン&トレイシー・モヴイリアッティ



プリモ・バーシク元ジュネーブクラブ会員とジェイコブ元国際会長、エリック次期国際会計、クナッド・エンダウメント基金管理委員長



ウルリック国際会長、トレイシー国際本部スタッフ、ルーチェ・レア・トミサワ元ジュネーブクラブ会員

# 国際本部ニュース



国際書記長  
ジョース・ヴァルギース

9月27日、秋晴れの中、ジュネーブの新国際本部オフィスのオープニングを祝いました。式典は、国際執行役員をはじめとするワイズメンズクラブ国際協会のリーダーたちによって執り行われました。また、PWA遺産基金寄付者の特別盾の除幕式も行われました。このイベントには、YMCAのパートナー、ジュネーブワイサービスクラブの元メンバー、退職した国際本部のスタッフ、その他さまざまなゲスト、友人、家族が出席しました。

アメリカにあった国際本部ビルは1970年代に売却され、本部は、スイスに移りました。50年以上もの間、再び国際協会のオフィスを所有するという考えは、多くの人々の心にありました。2018/19年、それは、元国際会長のムン・サンボンによって始められたレガシー目標の最も重要なひとつとなり、その後、国際会長の任期中にジェイコブ・クリステンセン元国際会長の優先事項として採用されました。そこで、承認された予算内で最高の場所を探す作業が始まりました。長時間に及ぶ調査の末、ジュネーブ中心部の理想的な物件が見つかり、購入し、数ヶ月を費やして近代的で効率的な運営センターに生まれ変わり、私たちの運動のポジティブなイメージを映し出すことに成功しました。

世界中のワイズメンやワイズウィメンの寛大な心、エンダウメント基金管理委員会の歓迎すべき関与、ジュネーブのスタッフの献身、そして地元の専門家たちとの良好な協力関係のおかげで、この夢は、組織に金銭的な負担をかけることなく実現しました。



9月4日に郵便投票によって承認された委員会およびタスクフォースは、国際プログラムを発展させるとともに、国際協会レベルおよび地域レベルで戦略2032の目標を定義し、追求することに重点を置きながら、直ちに活動を開始することを期待しています。

2023年の国際議会は、10件の新規TOF(タイムオブファスト)プロジェクトを承認しました。すでに4つのプロジェクトが成功裏に始動しました。私たちは、会員にTOFプロジェクトの状況を積極的にお知らせすることを目標としています。

旅行と交流の機会を継続し、2023/24年度にBF代表を受け入れることを検討するよう、地域と区に要請します。新方針に基づき、どの区も地元のクラブを訪問したり、大会や会議に出席したり、共同プロジェクトに参加したりするために、自由にBF文化代表旅行を提案することができます。旅行期間は1週間から1カ月まで。2024年12月1日までに、BF企画フォームをご提出ください。



ワイズメンズクラブ国際協会フェスティバルが待っています！

### 2024 国際大会

タイ・チェンマイ

2024年8月8-11日

お祭り気分の国際大会



クリック

## 編集長から

編集長に、国際会長ニュースに関するあなたの考えやアイデアをお知らせください。

11月はBFの強調月間です。

以下をクリックして、10月10日までに記事をご投稿ください。

編集長へ



# アレキサンダー奨学基金 (ASF)

田中博之

ASF国際事業主任

東日本区



アレキサンダー奨学基金 (ASF) の強調月間がやってきました。ASFは、ワイズメンズクラブ国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事にちなんで命名され、彼のビジョンを受けて1954年に設立されました。

この69年間、ASFは主にYMCAスタッフとYMCAに関わる青少年に奨学金や研修プログラムを提供するため、世界的に、また、各地でYMCAを財政的に支援してきました。ASFは、私たちとYMCAとのパートナーシップを具体的に示すものであり、誇るべきプログラムです。

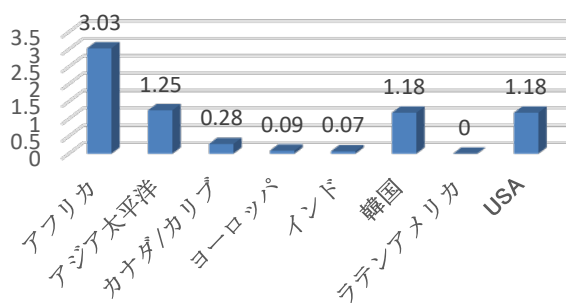
各エリア、各区でASFのために集められた金額の30%は、国際ASF献金として国際本部に送られます。この献金は、世界YMCAと協議の上、YMCAの運動の世界レベルでの特定の目的のためにYMCAに寄付されます。近年、毎年10,000スイスフラン以上の献金が国際本部に寄せられており、2022/23年度の献金額は13,676スイスフランに達しました。皆様の温かいご支援とご協力に感謝いたします。

これまで国際ASF献金は、例えば、若いYMCA会員が地域社会の変革者となることを支援する[チェンジ・エージェント](#)事業の支援、ロンドンでのYMCA175周年記念式典の支援、新型コロナウイルスのパンデミックによって困窮している世界中のYMCAを支援するためのYMCA連帯基金への拠出などに使われてきました。2022/23年度には、[ビジョン2030](#)に関する各国のYMCA総主事の研修に10,000スイスフランを支援しました。

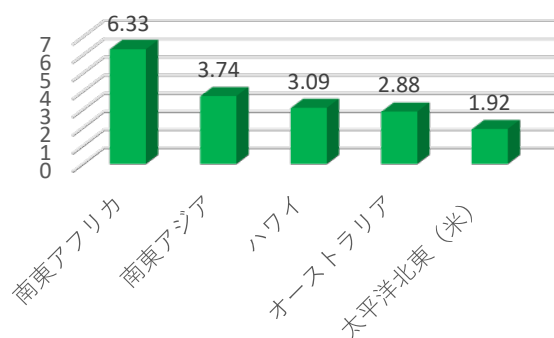
残りの70%は、各レベルのYMCAからの要請に応じ、YMCAスタッフや各エリアや区のユースリーダーの研修などに活用されています。2022/23年度、メンバー1人当たりの国際ASF献金への貢献が最も高かった地域はアフリカ地域でした。上位の区はアフリカ南東区、南東アジア区、ハワイ区で、それぞれ感謝の印として表彰されます。

ASFの重要性を認識いただき、すべてのエリアと区が昨年以上の貢献をしていただくことを願っています。

2022-23 各地域1人当たり (スイスフラン)



2022-23 1人当たりトップ5区 (スイスフラン)



# 何故友情の繋がりを作るのか？

ヴィリー・モルゴー

IBC国際事業主任

デンマーク区(オールボーIII)



ワイズメンズクラブ国際協会の運動は、異文化間のコミュニティと理解を通じて、より良い世界のために活動しています。私たちの使命は、垣根を取り払い、勇気、支援、アイデアの交換、経験を広めることです。私たちは、会員が個人的な成長と豊かさを経験できるよう支援したいと考えています。グローバル化した世界では、異なる文化や人々との交流がこれまで以上に重要になっています。

世界を見つめ、インスピレーションを得ることは、それが外部的なものであれ、自己の動機付けによるものであれ、ワイズメンが掲げる基本原則の重要な礎石となっています。この原則は、様々な手段で実現することができますが、特に注目すべきアプローチのひとつは他国のクラブと直接コネクションを持つことです。そしてこのプロセスを簡素化し、強化するためには、しばしば**ブラザークラブ**と呼ばれるフレンドシップクラブの中で絆を形成すること以上に良い方法はありません。

ブラザークラブの構想は、1947年のワイズメンズクラブ国際協会創立25周年に生まれました。1948年にはすでに最初のつながりが生まれていました。2022年11月現在、51カ国に425のブラザークラブがあります。ブラザークラブとのつながりをご希望の方は、[ウェブサイト](#)をご覧ください。また、より詳しい情報をご入用の場合は、**私**までご連絡ください。



台北ダウタウンとRAHAフィリピンおよび  
大阪とトレド・セントラルの各クラブのIBC調印式  
2023年3月に台湾・台北で開催された100周年記念祝賀会にて

# 第7回 韓国地域大会

## 韓国・デジョン



大会テーマ：「相互、共に、積極的に」

# 韓国地域、チョンヤン郡の洪水救援 に手を差し伸べる

韓国・チョンヤン(春陽)郡での洪水被害に対し、韓国地域は慈愛の精神と地域社会の精神を示し、必要不可欠な救援活動を行いました。8月5日～6日の2日間にわたって行われたこの活動には、7月下旬の豪雨の余波を受けた住民を支援するために集まった約200人の献身的なボランティアが参加しました。

災害対応活動は、ハン・イルウク地域会長そして区理事、韓国11区の役員、災害救援チーム/世界を癒そう(HTW)委員会のキル・ムンソプ委員長、そして多くのワイズメンクラブ会員によって戦略的に組織され、実行されました。

事態の深刻さから、チョンヤン郡は特別災害地域に指定され、広範囲に及ぶ洪水の影響に対処しています。家屋、道路、田圃は、かなりの被害を受け、容赦ない水は、悲劇的に命を奪い、今年の雨季に多くの人々に苦しみを与えました。このミッションの肝要な部分は、地元農民の生活を守るために不可欠なビニールハウスの修復も含まれていました。

さらに、ボランティアたちは、洪水の後に残された瓦礫や廃棄物の撤去という大変な作業に心を込めて取り組みました。この一致団結した清掃活動は、被災した地域社会が平穏な日常を取り戻すのに大きく貢献し、その過程で彼らの気持ちを高揚させました。心温まる連帯の表れとして、救援活動はその範囲を広げ、洪水によって悪影響を受けた世帯に必要な寄付金や物資を提供しました。

猛暑が続く厳しい天候にもかかわらず、韓国全土から集まったワイズメンのボランティアは、深い団結心と団結した決意を反映し、ボランティア活動への揺るぎない献身を示しました。

良い影響を与えようという共通のコミットメントに象徴される彼らの目覚ましい貢献は、ワイズメンズクラブ国際協会の中核的価値観を体現しています。



ハン・イルウク地域会長(右)とキム・ムンソプHTW委員長(左)

